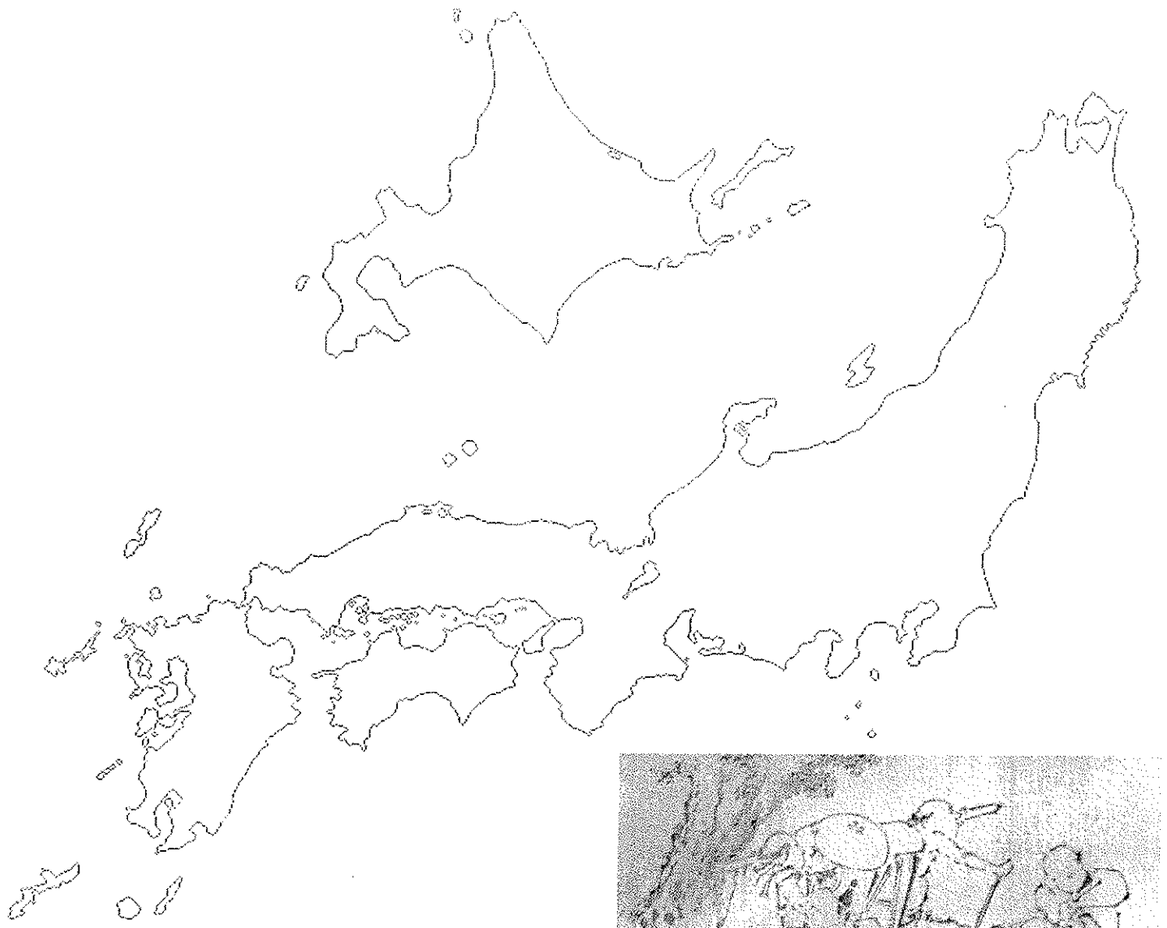
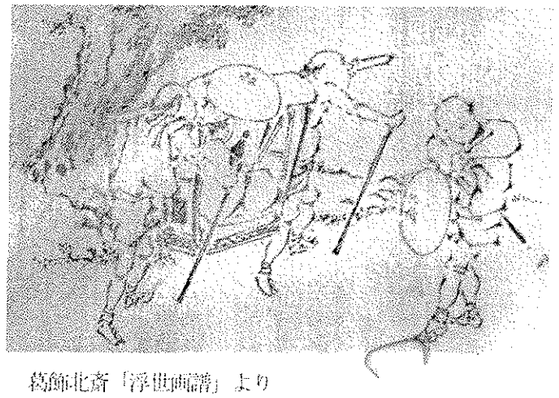
平成24年度　山口県文書館古文書実践講座テキスト

山口町人安部氏の奥州旅日記

Ⓐ「あつまにき」

No.3





葛飾北斎「浮世画譜」より

原氏の領土のおもなるものは厚狭郡
にあるところなれども所々に
散在せり八幡の社とて東の後のくらもみな西
うの事はやはり所ゝにつくりたるものなり
勢田の方にはつくりたる形四方にあり何郡
すべてこれ一尊師のいまに里に伝りし
稲千代はいまに多数田にあり
一説に原氏の山とは長門と豊前の里
の間なる明神山なりと伝つたれども拾遺
にあらず

猿喜多の事

猿喜多は豊前の人なり輪番にて豊前
長門の代人なりしかるに拾遺の説
明らかなるに国の守護なりしかれ
ども長門にて住居せしかるに毛利殿
いとのしかれば猿喜多は豊前の
方へ行けり行きて長門
豊前の人なり豊前にてそこ
原氏の代官なりしかるに

[illegible]

我が[illegible]義山[illegible]

やうと原の四まいりうと[illegible]

山田の道とも名づけて二里ばかり飯山城下に[illegible]

四つ[illegible]

なるもの[illegible]

たりとも[illegible]

なり[illegible]

[illegible]

一六日つとめて[illegible]

門跡門[illegible]城[illegible]

ほとつとめて[illegible]

つるも川[illegible]

れも日[illegible]

一七日[illegible]

山田より[illegible]

[illegible]

[illegible]

いと[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]伊勢はおこの神ぞうの所に
やうなりとかとかとかとと神ぞ[illegible]もすれを
はしたすきに[illegible]ものいひ明るの面をうう
まをうとうとうとうとうとうとうとうとうとうとう
ゐ[illegible]てぞ[illegible]ゐとうとうとうとうとうとう
[illegible]ゐとうとうとうとうとうとうとうとう
[illegible]
[illegible]
[illegible]

りのやうにて所々に三尊ほとけ四月八日ごとに
又所々にほとけ二の門者と乃ち高世や彩色
ひとしく浮出りつくりたるもの多し
あつまの所々砂りの多田の力紙西川なとうちつ
たりなどとも竜福寺と乃と組合わ
ゆるく乃く修験者の乃松乃の頃成るを松川者
一土は東原なる乃つ松乃の頃成るを松川者
尾張三河の境なる川一里の山
を過て池理鮒は大明神の
まつりまいりやそしし田とへうれば長成

さして聖徳の寺所まつりゆく田中より
乃りを知るの八幡宮くらいて
さて乃死働きを色丹に稲をうゑ
此しるしに北小三郎
又三河まつりを松乃業平の
以乃乃乃乃つくて北中に業平さて
稲いい有原し高塚の城りもさて
上乃乃の山
一十二日乃風寺林の墓山へ行て可外
さて乃乃乃の道とりの寺西梅夢明神